

第 45 回日本フィッション・トラック研究会実施報告

伊藤久敏

第 45 回日本フィッション・トラック (FT) 研究会は、ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会との合同研究会として、2021 年 2 月 20 (土) の午後 (13:00~16:40) に、オンラインにて開催されました。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のため、開催自体が危ぶまれましたが、岡山理科大学の豊田 新氏の声掛けにより、例年とは違う形での実施ではありましたが、無事に開催できたことに感謝申し上げます。

今回、発表者は、事前に発表動画を YouTube にアップロードすることとし、それらは岡山理科大学の古生物学・年代学研究センターの Web サイトでまとめて公開されました。参加者は発表動画を事前に見ることとし、本番では、神戸大学の谷 篤史氏に手配頂いた Zoom 上で、発表者による 3 分程度のフラッシュトークとその後の 4 分程度の質疑応答という形で進められました。Zoom のチャット機能を使って質問を受け付けるとともに、口頭での質問も受け付けました。

発表会は、3 つのセッションからなり (当日のプログラム参照)、セッション 1 では 9 件の発表があり、全て FT 研究会関連の発表が行われました。内訳は FT 法、 α リコイルトラック法に関する内容が 5 件で、以下、U-Pb 法 2 件、(U-Th)/He 法 1 件、LA-ICP-MS に関する基礎研究 1 件、でした。セッション 2 では 8 件の発表があり、主にルミネッセンス法を用いた年代測定に関する発表が行われました。セッション 3 では 7 件の発表があり、主に ESR 法による歯の放射線量測定や年代測定に関する発表がありました。

参加者人数は、Zoom のカウント数から、44 名程度でした。チャット等により、活発な質疑応答が行われ、充実した研究会であったと思います。なお、研究発表会に引き続き、FT 研究会の総会を行い、総会終了後には、オンライン飲み会を行い、お互いの近況報告などで親睦を深めることができました。

参考： 当日のプログラム ([3rd Circular](#))

第 45 回日本フィッション・トラック研究会総会実施報告

伊藤久敏

第 45 回日本フィッション・トラック (FT) 研究会総会は、2021 年 2 月 20 (土) 16:50 ~17:20 にオンラインにて、以下の内容で実施されました。

1. 出席会員数の確認： 普通会員 17 名の出席と委任状 12 名分が得られたことから、普通会員 (64 名) の 1/5 以上の出席および委任状をもって、総会は成立することを確認した。
2. 今年度の活動報告： ①FTNL 第 33 号の Web 公開と発刊, ②第 45 回 FT 研究会の開催, ③FT 研究会の HP の更新 (今年度は, FTNL の非公開文献の公開化に取り組んだこと) を報告した。また, 3 名の新入会員 (藤原 寛: 富山大, 南 沙樹: 京大, 岡本 晃: 京大) と 1 名の退会 (小林侑生) を報告した (敬称略)。
3. 2019 年度の会計報告 & 会計監査報告: 2019 年度の収入は繰越金を含め, 606,280 円, 支出は 34,442 円であり, 差額の 571,838 円を次年度に繰り越すことが報告され, 監査報告とともに承認された。
4. 次年度の執行部体制: 次年度 (2021 年度) の執行部は, 今年度と同じ体制とすることが承認された。
5. 次年度の活動計画: 以下の活動計画が承認された。①FTNL 第 34 号は 2021 年 10 月発行に向けて活動する, ②第 46 回 FT 研究会は ESR 応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会と合同で開催する, ③Thermo2020 に関する情報を会員に積極的に提供する。

総会出席者:

安間 了, 伊藤久敏, 猪又 竜, 大平寛人, 岡本 晃, 梶田侑弥, 末岡 茂, 田上高広, 谷篤史, 田村明弘, 中嶋 徹, 長谷部徳子, 福田将真, 藤原 寛, 南 沙樹, 山崎誠子, 山田隆二 (五十音順, 敬称略)

以下の 12 名の方々から総会に関わる委任状をいただきました。ご協力いただき、有難うございました。

岩野英樹, 白杵昌子, 雁沢好博, 島田耕史, 竹内圭史, 檀原 徹, 檀原有吾, 中里裕臣, 林広樹, 松浦秀治, 村松 敏雄, 森本祐一郎 (五十音順, 敬称略)

FTニューレター投稿要領(2021年)

1. 発刊は2021年10月頃を予定しています。
2. 原稿の締切りは、2021年8月末とします(ただし、年明けの限定冊子版の発刊を最終的な目処となる予定です)。

ただし、投稿される予定の方は早めに、掲載内容の種類(論説/総説/研究ノート/講演要旨/その他)、タイトル、著者、刷り上り予定ページなどを編集委員(田村: aking826@staff.kanazawa-u.ac.jp)までお知らせください。

またその都合によっては、 \times 切を延期することもあり得ますのでご相談ください。

論説/総説/研究ノートにつきましては、査読を行います。

3. 投稿原稿(論説/総説/研究ノート/講演要旨/その他)のスタイルの詳細につきましては、次の通りとします。

・文体、句読点、引用文献形式等の詳細は、添付書類および過去のFTNLをご参考ください(投稿の際は段組の必要はありません)。

過去のFTNLの論文や講演要旨は以下からご覧いただけます。

<http://ftngj.org/index.html>

タイトル・著者・所属は日本語および英語でお願いします。

・投稿原稿は、

テキスト(タイトル・著者・所属・本文・図のキャプションなど) : Word/Pages/RTF/TXTなど

***「図表はWord/Pagesファイル中に挿入しないでください」

図表は、以下の通りとしますが必要ならばご相談ください。

図 : PDF形式またはTIFF形式

表 : PDF形式を推奨(TIFF形式やEXCELでも可)

*テキストファイルとは必ず別にする

*カラーが可能です。

*サイズの目安、幅の上限

1段の場合、6.7cm、2.6inch、800pixel

2段の場合、15cm、5.9inch、1750pixel

以上の条件ではっきりと読むことができること

○研究会の講演要旨(Proceedings, Extended abstractsなど)につきましては以下のようにします。

*刷り上りページ数は4ページ(A4サイズ)を目処とします。それ以上の分量になりそうな場合は、できるだけ論説、総説あるいは研究ノートなどとしてご投稿ください。

*提出していただいた原稿は、編集委員会で簡単な査読を行います。内容やレイアウトの変更を求める場合もありますので、予めご了承ください。

*基本的には段組等レイアウトの必要はありませんが、希望するレイアウトがある場合はお送りいただくと幸いです。

原稿作成・編集作業等に関しまして、質問等ありましたら遠慮なくどうぞ。

フィッション・トラック ニュースレター 投稿規定 (1997年8月1日改正, 2013年4月1日一部改正)

総則

- (1) 本会会員または本会会員に紹介された非会員はニュースレターに投稿することができる。
- (2) 原稿は編集委員会に提出するものとし、編集委員会は受け取った原稿の受付年月日を記録し、原稿を保管する。
- (3) 編集委員会は必要に応じて、会員または非会員に原稿の査読を依頼し、また著者に修正を求めることができる。
- (4) ニュースレターに掲載の著作物の著作権は本会に帰属する。

細則

- (1) 掲載内容はフィッション・トラックに関連する幅広い分野を対象とする。
- (2) 掲載内容の種類を以下の通りとする。
 - (a) 論説: オリジナルな研究論文で内容の主要な部分が学術論文として、他に印刷発表されていないもの。
 - (b) 総説: ある分野に関して既存論文や学説などを総括・解説したもの。
 - (c) 研究ノート: 技術, 手法, 術語などについての報告または紹介。
 - (d) 日本フィッション・トラック研究会が開催・主催・共催した講演会などにおける講演内容をまとめたもの (Proceedings, Extended abstractsなど)。
 - (e) その他必要と思われるもの。
- (3) 論説・総説・研究ノートに関しては、複数の専門家による査読を行う。
- (4) 原稿の書き方・提出方法・刷り上がりページ数の制限などについては、別途定める。

FTNL編集委員

金沢大学 田村明弘 (email: aking826@staff.kanazawa-u.ac.jp)